こんな活動です

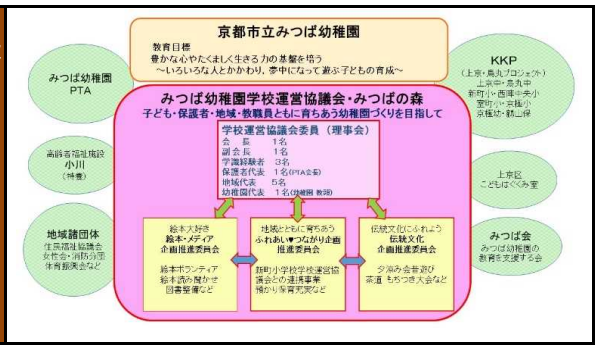
子ども・保護者・地域・教職員 ともに育ちあう幼稚園づくりを目指して

京都府京都市	●活動名	●関係する学校名
	みつばの森・みつば幼稚園学校運営協議会	京都市立みつば幼稚園

協働活動開始年度	平成　18　年度	関係学校数	1　校	のべ学級数	3　学級	のべ児童・生徒数	83　人
活動区分	学校支援活動		―		地域人材育成		
	―		―				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	―				3人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・ＮＰＯ等との連携		無
	平成18年2月19日設置			45人			
参考URL	http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=500302						

●連絡先　京都市教育委員会　生涯学習部　☎ 075-251-0456

●体制図



●活動の概要・経緯

3園の統合に伴い平成7年に開園したみつば幼稚園は，地域の温かい支援と熱い思いの下，幼稚園の中で全国で2番目となる学校運営協議会「みつばの森」の発足から今年度で14年目を迎える。「みつばの森」は，子ども・保護者・地域・教職員が共に育ちあう幼稚園づくりを目指し，各代表者を構成員とした理事会と地域学校協働活動を企画・実施する企画推進委員会から構成され，平成20年からは「絵本メディア」，「ふれあい♥つながり」，「伝統文化」の3つの企画推進委員会を組織し活動している。「みつばの森」では幼稚園教育目標を一層意識しながら，幼稚園PTAをはじめ，地域諸団体，近隣の新町小学校学校運営協議会，隣接の小川高齢者施設と連携するなど，幼稚園と地域をつなぎ，地域の力が幼稚園教育や幼児の育ちに活きるよう，また，それぞれの活動が充実するよう取り組んでいる。さらに，平成28年度には文部科学省から幼児期の教育内容など深化・充実調査研究の研究協力園として委託を受け，「幼児が地域に親しみ愛着を持つことを目指して」をテーマに研究を行うなど，日々の活動から研究実践に至るまで，地域と協働した取組を幅広く展開している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

①絵本大好き「絵本メディア企画推進委員会」：えほん室での見守り，在園児・未就園児への絵本読み聞かせ，図書整備，預かり保育や催し時には読み聞かせやグレースライオンズクラブと連携した活動を実施。
②地域とともに育ちあう「ふれあい♥つながり企画推進委員会」：預かり保育の充実（ミニ運動会・しおりづくりなど），新町小学校学校運営協議会との連携による事業（夕涼み会での昔遊びコーナー担当・幼小交流の充実），小川高齢者施設との交流見守り・宿泊保育の見守りなどの活動を実施。
③伝統文化にふれよう「伝統文化企画推進委員会」：学校運営協議会とPTAとの共催事業である地域の力を活かしたもちつき大会や夕涼み会での浴衣着付け，地域女性会による5歳児の茶道体験などの活動を実施。

【実施に当たっての工夫】

・えほん室での絵本ボランティアの活動では，絵本ボランティアの名札カードを掲示し，教職員も積極的に名前を呼びかけ，顔と名前がわかり人と人とのつながりができるよう工夫している。図書整備や絵本補修により"心地よいえほん室"が保たれ，人が集う場となっていると同時に，教員の仕事量軽減となっている。
・学校運営協議会会長が地域少年補導役員であることや本園と新町小学校の学校運営協議会理事を兼ねる方の橋渡しにより，地域諸団体との連絡調整が行いやすい。地域の方々の力で，茶道体験や宿泊保育での花火体験，夕涼みでの浴衣着用等園児の経験や多様な体験機会の創出に繋がっている。
・学校運営協議会とPTAによるもちつき大会は園児にとって直接体験ができる場であると同時に，保護者にも地域の人に教えを受けながらせいろ蒸しや餅を丸めることを経験してもらうことにより，大人にとっても地域に生きる伝統文化を学び，地域への愛着を育んでもらう良い機会となっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

・園児は伝統文化をはじめとする様々な直接体験を通して，地域に親しむことができ，幼稚園での豊かな生活に繋がっている。また，地域学校協働活動に参加された方からは，「園児から元気をもらった」，「自分の子育てを振り返る機会になった」などの声が聞かれ，お互いにとって心豊かになる活動ができている。
・園児にとっては初めての学校である幼稚園において保護者以外の人との関係を築くにあたり，地域学校協働活動への参加を通して，様々な人との出会いや温かな関わりがあり，自分たちが多くの人に見守られ，地域や社会に繋がっていることを感じたり知ったりすることができる機会となっている。
・核家族化が進み地域自治会に属しない家庭が増える中，地域学校協働活動への参加を通して園児や保護者が地域や地域の人を知り，馴染みを持つことできている。そうしたことが小学校以降の学校・地域での保護者の積極的な活動に繋がっており，地域で子どもたちを育てようという機運の高まりにも大いにつながっている。

● その他

地域の協力により実施しているもちつき大会や，学校運営協議会理事による調整により実現した警察音楽隊・カラーガード隊による交通安全啓発を実施。

かまどの直火でもち米を蒸す様子を見学。"火"の熱さ，湯気や煙などを体感。地域の方も「子どもの応援は力になるね！」と笑顔！

地域の協力を得て《もちつき大会》

保護者と園児をはじめ，隣接する高齢者施設の皆さんも共に楽しんだ。

京都府警察音楽隊・カラーガード隊による交通安全啓発